

天下人の視界が残る、安土城跡を制する!

安土城跡探索地図

安土城は織田信長公が天下布武の象徴として、天正4年(1576)家臣の丹羽長秀に命じて造らせた城です。琵琶湖の内湖(伊庭内湖・安土内湖)に囲まれ南方だけが開けた地形で、岐阜城よりも京の都に近く、北陸・東海を監視するのに適していたからです。築城開始からわずか7年後の天正10年(1582)6月2日未明、明智光秀の謀反により、信長公は京の都「本能寺」で「是非に及ばず」との言葉を残し、自らの命(49歳)を絶ちました。6月15日誰かが火をつけたかわかりませんが、安土城天主が放火され、豪華絢爛な城はあとがたもなく失われてしまいました。

「人間五十年 下天の内にくらぶれば 夢まぼろしのごとくなり」

●城跡: 天正15年10月20日 文部省(当時)指定の史跡となる。
昭和27年3月29日 文部省文化財保護委員会(当時)が特別史跡に指定。

らんまるくんの
安土城豆知識



らんまるくんの
安土城豆知識

僕と一緒に「安土城」を
探索しましょう!

1 大手道のひみつ

大手道の石段には、石仏や五輪塔といったお墓の石を使っています。神仏を恐れない人物と思われがちですが、実は合理的な殿の考えるリサイクルです。また、道幅を広くとりまっすぐに配置したのは、帝を迎え入れる時、人々を圧倒するよう「見せるため」に造った道です。

2 謎の空間

大手道の脇には羽柴秀吉(後の豊臣秀吉)さんと前田利家さんの屋敷があり、秀吉さんの上の郭の奥壁石垣には謎のくぼみがあります。何? 武器庫? 隠し部屋? 想像を膨らましてチェックしてみてください。

3 信頼の証

この場所には武井夕庵さんの屋敷がありました。夕庵さんは右筆(やうひつ)と言って、殿の代筆をしていました。また、お茶の師匠さんでもあり、殿に信頼されていたのです。

4 職人の技

黒金門の石垣の石は、安土城でも最大の石です。大きいものは3トン以上あります。大きな石に耳を当てると、どのようにして運んだのか、安土城を造った人たちの声を聴いてみてください。

5 静かに眠る場所

長谷川邸跡の奥には、殿のごとも織田信雄(おだのぶかつ)様とその子孫を加えた供養塔があります。織田信長公の血液は脈々と今に残っています。自立しない場所なので見落とさないようにご注意ください。

6 天主に隠された意味

「天主」という書き方が一般的ですが、安土城には「天主」の字が充てられています。殿は自らを「天主」と考え、天主を住まいとしておられました。天主に住んだのは、この後大阪城に住んだ秀吉さんの二人だけです。また、金箔を施したシャボコが飾られたのも、安土城が最初です。「大和68州のど真ん中」で静かな琵琶湖を眺め、靴のない世を願っておられました。



三重塔
築城当時のままに残る塔

徳見寺跡南側に、三層三重の本瓦葺きの塔が残っています。棟札に享徳3年(1534)建立の墨書があり、室町時代の建塔で、甲賀の長寿寺から移したものと見られます。徳見寺跡から眺めると安土内湖の景色は最高!



徳見寺跡
三重塔



二王門(楼門)
徳見寺の山門も今に残る

棟札に元龜2年(1571)甲斐武士山中俊好建立とあり、屋根は入母屋本瓦葺。門内に安置されている金剛力士像も、御殿内側に造られた1497年因幡守頼朝の造像名が残っており、天正年間(甲斐)から移したものと見られます。



信長公御廟
信長の夢と野望が眠る

天主西下の二の丸跡に、羽柴秀吉が天正11年に、信長公ゆかりの太刀、鎧帽子、直垂(ひただれ)などを埋葬して、御廟とした。さらに風俗には盛大な法要を行った。



大手道
安土城のスケールが想像できる遺構

安土城の入口にあたる大手口から、本丸に向かってみると直線にのびる。道幅8m両脇排水溝2m全長180mの高線階段の大手道。防壁ではなく信長公の天下統一を示した「見せる道」にした。

殿は日本人で初めて地球儀を見たと「地球は丸い」と理解したんですよ!



5 伝長谷川邸跡

4 黒金門

6

本丸跡



天主跡
この場所は天主跡の地下にあたる

東西: 南北それぞれ2.8mの台地は水等辺八角形の石垣が造られている。今までは、礎石が1.2mおきにずれて立っているだけであるが、地上8階地下1階の天主がそびえ立ち、イエズス会の宣教師ルイス・フロイスによればヨーロッパでも見られないほどの壮麗さと本国への手紙に書いている。一部分の石垣からは琵琶湖が望める。



徳見寺(仮本堂)
今は徳清宗妙の寺跡のお寺

信長公が自らの菩提寺として、他所より移築(安土城本丸四の角)安土城山上本堂は残り残ったが、1954年に廃壊し、仮本堂が、徳川家邸跡に建てられた。奇玉として信長公が使った鉄鎖「まげすのつば」や陣羽織が残っている。

各要所に設置されている案内板や解説版を見ながら探索すれば、天下人織田信長公の偉大さが体感できます。

●所要時間 約60分~90分
お詫の一言には、まいばいによる内容の部分が異なります。ご来訪の前には、(2020年1月作成)



専用駐車場あり
駐車場~受付の間にあります。

